

したのも楽しかった。おかげで標本はいっぱい集まった。データもそれなりに集まった。あっという間に、卒業論文を書く時期が近づいていた。

卒研で分かったこと分からないこと

卒業研究の結果、いろいろなことがわかった。子実体発生量は降水量と密接に相関していること、北海道の砂浜では、降水量がたとえ多くても、平均気温が15を下回ると子実体発生量は著しく低下すること、海浜植物の帯状分布と相関するように、きのこの子実体発生にも帯状分布の様式が見られること、砂浜に生えるきのこの多くが、未記載種または日本新産種であることなど、それなりに興味深い知見を得ることができた。でも、論文をまとめながら思うのだけれど、結局、今ま

で砂浜のきのこのこと付き合ってきた、その生き様のほんのわずかのことしか、理解できていないような気がする。成東の砂浜で初めてきのこに出会ってから胸に抱き続けてきた、なぜ、こいつらはよりによって砂浜に生えるのか、という疑問は、まだ、解決できていないのだ。

砂浜に、わたしとともに通い続けた黒い車は、いろいろあって現役を引退することになった。今度は、文字通り「青い車」で千葉の砂浜に行こうと思っている。千葉の砂浜は、わたしにいろいろなことを教えてくれた。これからも、千葉の砂浜に、また、そこに生えるきのこたちに、いろいろなことを教わりに行くだろう。今では、そこはわたしにとって第二の原風景である。

海外旅行の楽しみ きのごグッズ編(1)

吉田 悦子

海外旅行の楽しみはたくさんありますが、きのごグッズを見つけることもその一つでしょう。2006年3月23日から約3週間、オーストラリアのタスマニア島に行ってきました。タスマニアの州都ホバートという町では毎週土曜日にサラマンカン・マーケットという市が立つので私も出かけてみました。カラフルな花や新鮮な野菜、熱々のパイ、アクセサリー、木工品などの露店が並び、賑わっていました。ガラス工芸品を売る露店でガラスのきのこを多数発見(写真)。

その中の2個を購入したのに、ホテルで開けてみると何故か1個だけに。嘘!。別の露店で美しいガラス製のきのこを見つけて3個買いました。木工のお店で1個発見。クレードル・マウンテン国立公園ではCradle Mountain Lodgeという快適なロッジに泊まり、売店でバンクシアの実で作られたきのこを買いました。最後にポート・フーオンからホバートに帰る途中に立ち寄ったクラフト店でも木製のきのこを購入。全部で6種(本当は7種のはずが...)という大収穫でした。

